

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 古川小学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、本校におきましては、学校教育目標を実現するための、学校経営の5つの柱として

- ①「楽しい学校づくり」 ②「わかる授業・楽しい授業づくり」 ③「子どもが主体の学校づくり」
④「安全・安心な学校づくり」 ⑤「6年間を見通した古川の学習づくり」

を掲げ、日々の教育活動に取り組んでおります。

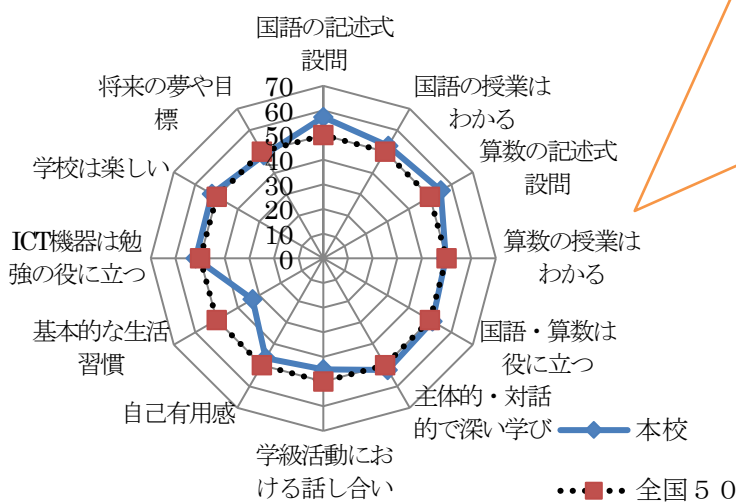
5月27日（木）に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果につきまして、学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であり、本校の教育活動の成果と課題を把握するための1つの指標です。地域・保護者の皆様には、今後も児童のよりよい成長を促すための参考として本調査の趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※本資料で示している数値は、各教科に関する調査結果の正答率と質問紙調査の各項目の「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計です。

1 本校の調査結果の概要

*全国の結果を50とし、全国と本校の差を示したグラフです



- 「国語・算数の記述式設問」（本校：56.1％）については、全国平均を上回っています。また、「国語・算数の授業がわかる」（51.1％）については、ほぼ全国平均となっています。「国語・算数は役に立つ」（51.2％）、「主体的・対話的で深い学び」（52.3％）については全国平均をやや上回っています。
- 「学級活動における話し合いや問題解決に関する設問」（45.1％）については、全国平均をやや下回っています。
- 「基本的な生活習慣に関する設問」（33.1％）においては、全国平均を下回っています。日々、ほぼ一定の就寝・起床時刻にならない傾向を示しています。
- 「将来の夢や目標をもっている」（48.3％）、「自己有用感に関する設問」（46.7％）においては、全国平均をやや下回っています。
- 「ICT機器は勉強の役に立つ」（51.8％）については、全国平均をやや上回っています。
- 「学校が楽しい」（52.2％）については、全国平均をやや上回っています。

2 調査結果をもとにした今後の取組

- (1) 学校経営目標②「わかる授業・楽しい授業」、③「子どもが主体の学校づくり」、⑤「6年間を見通した古川の学習づくり」に関する調査結果

【これまでの課題に対する学校の取組】

国語、算数ともに、基礎・基本の定着を図るために、一人一人にあった学習支援の充実を図ってきました。また、校内授業研究では国語の授業を通して、「認め合い、学び合う子」をめざして取り組んでいます。国語・算数の「授業がわかる」「役に立つ」を児童自身が実感できる手立てについて検討しています。

【現状と課題】

- ・今年度は、国語、算数の基礎的・基本的な「知識・技能」の設問、および記述式を含めた「思考・判断・表現」の設問全体の正答率が国語で5.3ポイント、算数で4.8ポイント全国平均を上回りました。校内授業研究等において6年間を通して「認め合い、学び合う子」の育成をめざす中で「主体的・対話的で深い学びのある

授業」「わかる授業・楽しい授業」づくりに努めてきた成果と捉えています。

- ・国語、算数の教科における「主体的・対話的で深い学び」に関する設問では、全国平均を2.3ポイント上回っている一方で、「学級活動における話し合い」に関する質問項目においては、全国平均を4.9ポイント下回る結果となりました。教科等の学習で身につけた力を広く学校生活に活かせるように、今後の指導の改善が必要であると考えています。

【今後の取組】

教科学習とともに、学級活動等における日常の学校生活づくりにおいても主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、子ども自身が目的や必要性を意識して取り組める話し合い活動の充実をめざしてまいります。さらに、互いの考えを伝え合うための言語活動の充実に向けて GIGA 端末を活かした授業改善や学級活動の充実への工夫を図ってまいります。次年度も引き続き「子どもが主体の学校づくり」をめざして、教科外の話合い活動に関する質問項目において全国平均に及ぶことをめざします。

(2) 学校経営目標①「楽しい学校づくり」、④「安全・安心な学校づくり」に関する調査結果

【これまでの課題に対する学校の取組】

各教科・道徳科・特別活動において、学習を進めるにあたり、課題について見通しをもち、友達と協力するなどの活動を重視してきました。また、学んだことを自分や周りの人々の役に立ったと感じられる授業づくりにより、「自己有用感」という心を育むことを通して、学校に通うことに意味を見出し「学校に行くのは楽しい」と感じることができるよう授業改善を行ってきました。

【現状と課題】

- ・「学校が楽しい」では全国平均を2.2ポイント上回っており、学習面では「国語・算数の授業がわかる」で2.3ポイント全国平均を上回り、生活面では「友だちと協力するのは楽しい」で1.7ポイント上回っているなど、学校生活全般を楽しんでいる様子がうかがえる結果となりました。
- ・一方で、「自分には、よいところがあると思う」では、全国平均を3.3ポイント下回っており、自尊感情や「自己有用感」の弱い姿がうかがえます。また、「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童も全国平均を1.7ポイント下回っていることから、現在の自分の姿を肯定的に把握する力、そこから将来の自分のイメージを描く力が弱い児童への支援が必要であることがうかがえます。
- ・学校経営目標④「安全・安心な学校づくり」は防災教育の充実に関する目標であり、今回の質問紙調査を基にした考察等を行いません。別途、「学校評価アンケート」等で評価します。

【今後の取組】

わかる授業を展開するとともに、友達と協力して活動したり、課題を解決したりする場面を多く設定するなどを通して、「学校が楽しい」と感じる児童のさらなる増加をめざしてまいります。また、各教科と学級活動における両面から話し合い活動の充実を図り、児童がめあてをもち、友達と協働しながら問題解決ができたときの喜びや達成感を体験できるように教育課程を展開してまいります。

【古川小学校の今後の重点目標】

校内授業研究による「わかる授業・楽しい授業づくり」「認め合い、学び合う子をめざして」と特別活動部会を中心とした、「子どもが主体の学校づくり」「主体的・協働的に活動しよう」の両輪で、児童一人一人の自己実現と集団による協働的な学びにおける喜びや達成感をより一層高めていくことができるようにしたいと考えています。一方で「学校が楽しい」「授業がわかる」ことに対して否定的な回答の児童にも目を向け、個に対する支援の充実を図るとともに、教職員一人一人の指導力の向上に努めてまいります。

【教育委員会から】

古川小学校では、「わかる授業・楽しい授業づくり」「認め合い、学び合う子をめざして」をテーマに主体的・対話的で深い学びの実現につながる国語科の校内研究に取り組み、子どもたちの主体性と協働する心を大切に教育活動が日々展開されています。子どもたちがお互いに認め合い、良好な人間関係を築いていけるよう、様々な場面で人とのかかわりを大切にしている様子が見られます。

(幸区・教育担当)